

絆

手と手を繋いで頑張ろう厚真



①厚真郷芸保存会による力強い和太鼓演奏 ②子どもたちの愛らしい姿に会場が和んだフラダンス ③内容盛りだくさんのステージに会場は笑顔に包まれました ④昨年のあつま田舎まつりに出演した山本リンダさんと町民吹奏楽団が共演 ⑤楽しい演奏や踊りで魅了した池田高校吹奏楽部

厚真を愛する人みんなで心をひとつに復興イベント「絆」手と手を繋いで頑張ろう厚真

1月27日、総合福祉センターで復興イベント「絆」手と手を繋いで頑張ろう厚真」が開催されました。町観光協会や町商工会らで組織する実行委員会が、犠牲者の追悼や町民を元気づけようと企画。

ステージは、厚真郷芸保存会の力強い太鼓演奏で始まり、コロヘ・レイアロハによるフラダンスショー、町民吹奏楽団による演奏、十勝管内池田町の池田高校吹奏楽部による躍動感あふれる踊りと演奏の「ダンス&プレー（ダンプレ）」など会場いっぱい元気を与えていました。

また、歌手の山本リンダさんや北海道出身のお笑い芸人コンビ「タカアンドトシ」が登場すると、立ち見が出るほどの観客で会場がいっぱいになりました。

駐車場には町商工会や登別市商工会議所など11軒の飲食店が並び、おいしい食べ物と出店者との

ふれあいで、来場者は心も体も温まりました。

イベントの最後には、札幌市の「モエレ沼芸術花火」提供の「厚真芸術花火」を開催。昨年9月8日に札幌市のモエレ沼公園で打ち上げる予定でしたが、北海道胆振東部地震の影響で中止となったため、「厚真を元気に」と花火を提供いただきました。尺玉12発の花火が打ち上げられ、厚真の夜空に大輪の花が咲きました。

同実行委員長の吉住彰郎実行委員長（47歳）は「今日みなさんの笑顔を見てイベントを実施して良かったと感じました。想像以上に多くの方に協力いただきありがとうございます。町民一致団結して復興に向けて頑張りたいです」と話していました。

イベントには町内外から延べ約5千人が来場し、楽しい時間を共有しました。



⑤旭川市や帯広市などから駆け付けた北海道ご当地ヒーローショー②多くの観客が訪れ会場は満席に③小寺聖夏さんによる復興支援コンサート④美しい音色に包まれた旅するピアノ・チャリティコンサート⑥お笑い芸人コンビのタカアンドトシによる漫才



第12回 あつま国際雪上3本引き大会



優勝

パンプアップ塾 小牧

3連覇!



準優勝

小牧Pフォース

第3位

ふくろうの家A



第12回あつま国際雪上3本引き大会（同実行委員会主催・池川徹実行委員長が1月20日、かしわ公園野球場（本郷）で行われました。雪上3本引きは8人1組のチームが3本の綱のうち2本を自陣に引き込めば勝利となる冬の競技で、厚真町が発祥。

今回は、初参加が26チームで、町内外から過去最多の58チーム約930人が参加しました。

開会式で地震により犠牲になられた方々に黙とうをささげた後、競技がスタート。

ト。町災害ボランティアセンターの活動に参加した人で結成したチームや地震直後、行方不明者の捜索などに当たった自衛官チームなどが参加しました。

選手たちは白い息を吐きながら、力強く綱を引き合いました。優勝は「パンプアップ塾 小牧」（小牧市）で3連覇を果たしました。

閉会式で池川実行委員長は「厚真にいっぱい元気をいただきました、ありがとうございます」と振り返りました。

「3本引き」が札幌ドームで開催!



1月14日に札幌ドームでほっかいどう大運動会（同実行委員会主催）が行われました。

この運動会は今年初開催の市民参加型のスポーツイベントで、約1万5千人が来場しました。

種目の一つに厚真町発祥のウィンタースポーツ「あつま国際雪上3本引き」が行われ、道内の101チームが汗を流しました。